

事業所名 ふれ愛グループ にこにこらビット

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			高学年以上のお子様には少し狭いと感じるかもしれませんが、定員に対するスペースは適正となっています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準は満たしておりますが、療育を充実させるため、増員募集をおこなっています。しかし、増員補充が出来ていないのが実状です。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関前はスロープになっており、室内には身障者用のトイレを設置しております。体の小さなお子様が使用する際には、補助便座や足台を使用しております。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			役職者が中心となり業務改善を行っています。必要に応じて、職員間で意見交換をしながら進めています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に1度、評価表の記入をお願いしております。要望等につきましては、職員間で共有をし、業務改善に繋げています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価の結果は、法人のホームページにて公開をしています。現在、事業所のホームページ作成中の為、出来次第、評価表の結果を移行いたします。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は実施していません。今後の検討課題となっています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			コロナ禍の為、eラーニングや動画配信、ズームでの外部・内部研修を実施しています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			お子様や保護者の方、学校等関係機関と情報共有をしながらアセスメントを実施し計画作成を行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	独自のアセスメントツールを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか			○	活動プログラムは児童発達支援管理責任者が作成しております。療育を進めるにあたり、取り組み方法や意見交換は職員間で実施しております。
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			1週間の中で同じ活動が重ならないように設定しています。1ヵ月間で、曜日ごとに同じ活動経験ができるように設定しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			外出行事などは、コロナ禍の状況を見ながら少しずつ緩和していこうと考えておりますが、現段階では、まだ室内での活動のみとなっております。平日には出来ない制作活動など時間をかけて取り組む活動を長期休暇期間に取り組めるように設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	必要な場合には個別活動の時間を設けています。手段での活動は、児童発達支援を利用するお子様と合同で実施しており、余暇時間を含め、異年齢での交流が出来るようにしています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			個別活動プログラムの中で、1週間ごとに担当を決め取り組んでいます。事前の打ち合わせや療育準備等日々行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			療育中の出来事、学校からの引継ぎ内容等につきましてはその都度、情報交換を行っています。療育終了後には、保護者の方との話や気になる点など情報共有するよう努めています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録、活動プログラムの1週間ごとの記録、1ヵ月の振り返りを実施しながら検証・改善に努めております。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年2回アセスメント、モニタリングを実施しています。又、関係機関や保護者の方と情報交換しながら計画の見直しをしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインに沿って実施しておりますが、見直しは必要と感じています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当者会議には児童発達支援管理責任者が参画しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		主に保護者の方からの連絡が中心となりますが、学校のホームページや配布書類（時間割等）、送迎の際に直接確認をするなどの対応をさせていただいております。何かあった際には、電話連絡等を取り情報共有を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医療的ケアが必要なお子様は受け入れておりません。（必要な職員を配置していないため）
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	必要に応じて行っています。主に保護者の方が中心となり情報共有、相互理解に努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	必要に応じて情報提供をしています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		動画配信になりますが、センターの研修は受けています。又、地域マネージメント事業として年2回関係機関の方が事業所を訪問し、その際に助言等を受けています。（コロナ禍の中で訪問を中止していましたが、今年度から再開をしています。）
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	外部との交流の機会は設けておりません。児童発達支援を利用されているお子様と合同で療育を行うことで、異年齢との交流の機会とさせていただいております。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	動画配信などになりますが、研修への参加をしています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎の際や計画見直しの際など保護者の方の情報共有をしながら共通理解をしています。又、学校への迎えの際に様子や取り組み方法などをお聞きし、事業所で出来る取り組みは実施できるように努めています。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	十分とは言えないと思いますが、保護者の方と信頼関係を築きながら、お力になれるように今後も努めてまいります。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約の際にご説明をしています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		必要に応じて行っていますが、十分な助言、支援が出来ていないのかもしれませんが、保護者の方との信頼関係を築きながら、思いを引き出し必要な助言や支援を行えるように努めてまいります。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会の開催はしておりません。要望等がございましたら検討させていただきます。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		契約時に重要事項説明書の中で説明をさせていただいております。何かあった際には、迅速に対応をしています。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		3ヵ月に1度、お便りを発行させていただいております。療育の様子について写真を記載しています。行事については、コロナ禍の状況を見ながら緩和していきたいと考えているので、開催する場合には案内等を配布いたします。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○		十分注意して取り扱っております。契約書類等につきましては、鍵付きのロッカーにて保管をしています。
	㊱	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		児童へは、分かりやすい言葉で声掛けをしています。活動内容等は視覚支援を取り入れております。保護者の方へは誤解や情報伝達の漏れがないように努めておりますが、不備が生じてしまうこともあるので、今後も気を付けていきたいと思っております。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	以前は、避難訓練の際に地域の方が参加下さっていましたが、感染予防の為、現在は中止したままとっております。

非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	各マニュアルは策定しております。職員間では、委員会や内部研修の中で見直しを実施しながら理解を深めています。保護者の方への周知方法につきましては、検討課題となっております。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	防火・防災訓練は実施しております。又、防災教育の一環として、療育の中で、絵本の読み聞かせやクイズ、災害時に役立つグッズ作りなどを行いながら意識を高められるようにしています。日常的に、防災を学べるように、本を設置し自由に観覧出来る環境を作っています。
	㉒	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	事業所内での委員会、研修を定期的に行っています。又、外部からの動画配信なども活用しながら学べるようにしています。
	㉓	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	身体拘束が必要なお子様はおりません。身体拘束適正化のための指針等は策定しており、定期的に、委員会、内部研修を実施しながら学んでいます。
	㉔	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	アレルギーのあるお子様につきましては、ご家族と情報交換をし、事業所で必要な対応をさせていただいております。主におやつになりますが、職員間で情報共有をし、間違いがないように対応しております。
	㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	ヒヤリハット事例集の作成はしていませんが、何かあった時には、情報共有をしております。又、動画配信等を利用し、ヒヤリハット事例等について学び、日々の振り返りや自己検証に繋げております。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。